



平成31年第1回富谷市議会臨時会

市長挨拶

平成31年1月8日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



本日ここに、平成31年第1回富谷市議会臨時会が開会されるにあたり、提出議案の説明に併せて、一言、ご挨拶を申し上げます。

「平成」最後の年となる平成31年が明け、1週間が経過しました。

振り返りますと、本市にとって、「平成」の30年の間には、人口が3万人以上増加するとともに、行政区や小中学校の数もほぼ倍増し、平成28年には、市制施行を成し遂げるなど、まさに大きな発展を遂げた時代となりました。

年頭に際し、時代を築かれた先人の方々のご労苦に、改めて感謝と尊敬の念を抱いたところです。

本年、5月1日には、新天皇が即位され、新しい時代を迎えることとなります。昨今の我が国の状況を鑑みると、これからは、これまでのような急激な発展を続けていくことは難しい時代となると推察されます。

本市といたしましても、緩やかな発展を続けながら、充実と安定を目指し、住んで良かったと思えるようなまちづくりを進めるため、仕事始めの1月4日には、年頭の訓示の中で、総合計画の推進、行政改革の継続的な取組とともに、就任以来申し上げてきた声の届く市政、特に声なき声、小さな声こそ、耳を傾ける努力を続けて欲しいと、改めて職員に対し、申し伝えたところです。

また、1月5日には、「富谷市新年祝賀会」が開催され、一般申込のあった市民の皆様や関係機関の方々など、過去最多となる700名の皆様のご臨席をいただき、市民の皆様のご多幸と本市の恒久発展を祈念いたしました。

翌6日には、富谷市消防団が一堂に会した「富谷市消防出初式」が挙行され、本年の無火災・無災害を祈念したところです。

両日にわたり、年始早々のご多忙の中、議長、副議長をはじめ、議会の皆様にご出席いただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

改めまして、本年は、明治22年、1889年の市町村制施行によって富谷村が誕生してから、130年の節目の年となり、来年には、富谷宿開宿400年の節目を迎えることとなります。

本市においても様々な節目となる本年も、議会の皆様、市民の皆様とともに、本市の将来像である「住みたくなるまち日本一」の実現に向け、邁進してまいりますので、引き続き、よろしく願いいたします。

それでは、本臨時会に提出している議案の概要をご説明申し上げます。

議案第 1 号から議案第 3 号については、宮城県内で最も早く整備を表明し、昨年 12 月の第 4 回議会定例会において、関連経費を可決いただいた、市立小中学校空調設備整備工事について、請負契約を締結するため、議決をお願いするものでございます。

本整備については、12 月 26 日に入札を執行し、翌 27 日付けで仮契約を締結いたしました。これまでの議会の皆様のご理解とご協力に、改めて感謝を申し上げますとともに、本年夏の稼動に向け、鋭意取り組んでまいります。

諮問第 1 号「人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」は、人権擁護委員の候補者の推薦につき、意見を求めるものでございます。

以上、議案 3 件、諮問 1 件の概要を申し上げましたが、議案審議の際には、詳細にご説明いたしますので、慎重にご審議を賜り、全案件ご可決下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。